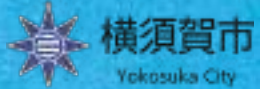


変化を力に進むまち。



本書のイラストは、  
未来の横須賀をイメージした  
架空のまちです。

YOKOSUKA VISION 2030 横須賀市基本構想・基本計画 マンション

変化を力に進むまち。

# YOKOSUKA VISION 2030

横須賀市基本構想・基本計画

ハンドブック



# YOKOSUKA VISION 2030 とは

これからの横須賀は、何を大切にし、どう進んでいくのか、  
さらに、2030年の横須賀はこうありたいという姿を描いたものです。  
「そんな先のことは分からない!」と思うかもしれません。  
確かに、今のような変化が目まぐるしい世の中では、  
未来を正しく予測することはできないでしょう。

けれども、そんな時代だからこそ、  
「未来はどうなるのか?」ではなく、  
「私たちはどうありたいのか」をみんなで考え  
それに向かって一歩ずつ進んでいくことが大切です。

このビジョンは、横須賀に関わる多くの人たちと  
どんな横須賀になりたいのかを語り合いながら作りました。  
そして「変化を力に進むまち。横須賀市」という未来像を掲げ、  
10の分野で、それぞれ目指す未来の姿を描きました。

これから、このビジョンを実現するためにも、  
たくさんの仲間と協力することが必要です。  
さあ、一緒に歩きだしましょう。素晴らしい未来を目指して。

# 変化を力に 進むまち。 横須賀市

温暖な気候と半島特有の海やみどりなどの自然環境。

開国期を彩り近代文明の礎を築いた歴史。

地域の風土に根づいた文化。

多くの外国人の居住や、外国人との交流が生み出す国際的な雰囲気。

集積する、先端的な研究開発機関。

横須賀には「国際海の手文化都市」として育んできた

まちの魅力があります。

しかし、急速に進む人口減少、少子高齢化。

さまざまな分野でのテクノロジーの劇的な進歩。

地球規模での気候変動。

また、新型コロナウイルスの流行により求められる新たな社会システムへの転換。

このような社会情勢の中では、これまでのまちづくりの姿勢を踏まえながらも、

私たちは、心と知恵と力を合わせ、この変化を受け入れ、立ち向かう必要があります。

変化には不安が付きまとうもので、一步を踏み出すには勇気が必要です。

横須賀に根づく、人と人との絆、助け合い、人情。

そして自他区別のない思いやりや慈しみの心。

この「誰も一人にさせない」という変わらぬ精神こそ、

変化への不安を和らげ、人々が一步を踏み出す勇気になり、

そして最後には変化の荒波を乗り越え、その先へ進む原動力になると考えています。

すべての“ひと”が自分らしく輝けるまちへ。

人も自然も共生する“まち”へ。

「やりがい」と「やりたい」から“しごと”が生みだされるまちへ。

「自分ごと」の意識が未来の“環境”を守るまちへ。

今あるまちの魅力に改めて目を向け、そして変化を追い風にして、

2030年、希望ある豊かな横須賀を目指し進んでいきます。

# ひと

## すべての“ひと”が 自分らしく輝けるまちへ

一人ひとりが自分らしく幸せでいられること。  
さまざまな人々が生涯を通じて育てあい、ともに成長を喜べること。  
いつまでも、心も体も健やかで家族や仲間と過ごせること。  
横須賀の力の源泉である“ひと”の輝きは、さらに増していきます。

# まち

## 人も自然も 共生する“まち”へ

性別・年齢・人種などの違いを力にしていくこと。  
いざという時に備え、非常時こそみんなで助け合うこと。  
人にも自然にもやさしいまちで、平和に暮らしていただけること。  
地域の多様性と調和が“まち”をつくっていきます。

# しごと

## 「やりがい」と「やりたい」から “しごと”が生まれるまちへ

新しいビジネスに挑戦したくなること。  
仕事も遊びもワクワクできること。  
海や歴史、文化など横須賀ならではの魅力を生かしていくこと。  
やりがい と やりたい を“しごと”の原動力としていきます。

# 環境

## 「自分ごと」の意識が 未来の“環境”を守るまちへ

横須賀の自然環境を大切に思うこと。  
みんなが未来の環境について考えること。  
自分ができることから始めること。  
“環境”への意識を高め、持続可能な未来へつなげていきます。

分野別未来像

福祉

誰もが自分らしく  
幸せに生きられるまち



すべての人は生まれながらに  
「幸せになる権利」を持っています。  
幸せに届かない「何か」があるならば、  
その声にしっかりと耳を傾け、  
皆で手を取り合ってサポートしていく。  
これこそが横須賀の考える福祉です。  
この考えをもとに、  
横須賀ならではの福祉を  
追求していきます。

An illustration of two hands, one larger and one smaller, reaching towards each other. The hands are rendered in a light yellowish-gold color with simple line work for fingers and palms. The background is a solid, textured pink. The larger hand is positioned at the top left, and the smaller hand is at the bottom right, with their fingers just inches apart.

「大丈夫ですか。」

困っていたら 助け合う。

辛いことがあったら 支え合う。

手を伸ばせば 触れられる 距離にあるのに

それが 意外と 難しい。

それでも 一歩踏み出せば 手を取りあえる。

自分も そうでありたいと 思う。

この まちの みんなが そうであるように。

分野別未来像

子育て・教育

# いくつになっても 育てあうまち



育つことと育てること、  
教わることと教えることは、  
共に人を成長させる素晴らしい機会です。  
私たちには、人生のさまざまな局面で  
その両方の機会が訪れます。  
そのチャンスを家庭や学校だけではなく、  
より多くの人に提供し、  
人生100年時代、生涯を通じて、  
誰もが成長の喜びを感じられるような  
サイクルをつくっていきます。



「ひと昔前は こんなことが あったのよ。」

好奇心旺盛な目が 輝き出す。

子どもたちの 学びの姿勢は 見習わなければ

私は 先生であり 生徒でもあるのだ。



分野別未来像

健康・医療

## 健康がすぐそばに あるまち



住み慣れた地域で

いつまでも健康で過ごすためには。

充実した医療の提供基盤に加えて、

自分にとって最良の主治医は

自分であるという考えのもと、

一人ひとりの健康寿命延伸の

取り組みが必要です。

ライフステージに応じた

健康増進の取り組みを進め、

ゆりかごから墓場まで、

自分らしく安心して過ごせるまちを

目指します。

「この数値が 気になるわ。」

こまめに 健康状態を チェックする。

「この後は お散歩へ 行こうかしら。」

少しでも長く このまちを

見守りたいからね。



分野別未来像

コミュニティ

## 多様な力で つくるまち



リモート化の進展により、  
オンライン上での交流が活発になる一方、  
リアルな対面での交流の場面は、  
今までの職場や学校といった単位から、  
地域や家族といった単位に変わりつつあります。  
こうした流れの中で、地域には、  
触れ合い、助け合いがある、  
つながりの強い近助の精神を持った  
コミュニティが求められます。  
横須賀では、先人たちが  
このようなコミュニティを築き上げてきました。  
このつながりを次の世代に受け継いでいく、  
そして多様性を認め合い、  
住民自治の力の向上を図ることで、  
更なる価値をつけていくことが、  
横須賀の飛躍へとつながります。

「なにか あったら 声かけてね。」

人種も 年齢も 性別も

みんな 違うけれど

この まちの 人たちは

みんな あたたかい。



分野別未来像

防災・安全

## つながりと備えが 安心を生むまち



安全と安心。

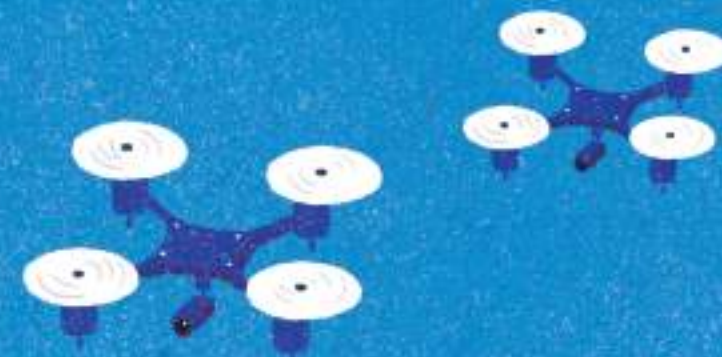
大切なのは、それが脅かされたときに、  
最悪の事態を避けられる体制を  
つくっておくこと。

平時だからこそできる、日常的な備えや  
地域のつながりの構築が大事です。

ハード面での都市基盤・都市構造の  
整備・強化に加えて、

この意識を醸成していきます。

「一緒に向かいましょう。」  
なにか あったときに 声をかけられる 人や  
場所が あるだけで 心強い。  
どんな災難も  
乗り越えていける気が するんだ。



分野別未来像

都市基盤・まちづくり

## 誰もが暮らしを 愛せるまち



まちの姿は人の暮らしを形づくりします。

人口減少、少子高齢化の中、

コンパクトなまちづくりの

視点を持ちながら、

地域資源を最大限に生かした、

横須賀独自の個性豊かなまちづくりを

進めていきます。

また、暮らしや人に寄り添った

交通環境の整備も行っていきます。

「さあ 今日は何処へ行こう。」

この一本の道路から海も山もまちも人も

いろんな場所へ仲間へつながっていく。

都会すぎず 田舎すぎず 活気にあふれている。

このまちのそんなところが好きだ。





分野別未来像

産業振興

## 失敗を恐れない 挑戦者を応援するまち



既存の産業を支えつつ、

新たな技術や分野との融合による

イノベーションを促進し、

生ずるビジネスの多様性や付加価値を

横須賀の強みとしていきます。

また、既存の事業者や研究開発機関等の

新たなチャレンジに加えて、

これを補完する起業家の挑戦、連携を

後押しする体制も整えていきます。

「どうせできない。」

「無理に決まっている。」

そんな言葉を はねとばすような  
力強い後押しに 支えられてきた。

さあ 冒険の始まりだ。



分野別未来像

観光・文化

## ワクワクが あふれ出すまち



横須賀のあらゆる地域資源を生かし、  
音楽、スポーツ、エンターテイメント等の  
力を融合させて、  
身近にそれらがあふれ、  
まずは市民がワクワクし、  
地元を楽しみ、まちに誇りや愛着を  
持てるような仕掛けをつくっていきます。  
そこで生まれた熱量は、外にも伝播します。  
社会情勢やトレンドを捉え、  
横須賀でしか体験できないこととして、  
ブランディングや発信を行い、  
市外からの集客につなげます。



分野別未来像

海洋

## 可能性に満ちた海を 活用するまち



横須賀の海は、特別な存在です。

東京湾・相模湾それぞれが

特性を持つ景観、豊かな自然、

豊富な水産物やそれを生かした食の場、

さらにマリンスポーツ、

マリンレジャーに適した環境がある一方、

歴史遺産や研究開発機関、

国内外の物流拠点となる港湾機能も有し、

多様な魅力と可能性を持っています。

この海の多様性は、横須賀にしかない

独自のものです。

そのことを強く意識し、

最大限まちづくりに活用するとともに、

次世代に引き継いでいきます。

「潮の香りと 風が 気持ちいい。」

誰にも 邪魔されない 特別な時間。

この感覚を もっとたくさんの人に 知ってほしい。

そんなことを 思いながら

向かい風を 突き進んだ。



分野別未来像

環境

## 「自分ごと」の意識が 未来を守るまち



持続可能な社会を実現するために  
大切なことは、

一人ひとりが日常の生活において、  
環境にかかわることを

「自分ごと」として考えることです。

この意識の醸成により、

横須賀が誇る豊かな自然環境と、

快適な生活環境を

将来の世代に引き継いでいきます。

「ずいぶんきれいな海になったね。」

豊かなみどり 潮の香りの 漂うまち。

当然のように そばにあった景色は

本当は とても とても

かけがえのないもの。





2030年 横須賀は 進化した。

テクノロジーの 力もかりて  
より あたたかく 人との つながりが  
感じられる まちに。



「YOKOSUKAビジョン2030」の全編は、  
横須賀市のホームページでご覧いただけます。  
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0830/yokosukavision2030/top.html>  
また、横須賀市役所で冊子を販売しております。

発行年月 令和4年(2022年)3月

発行元 横須賀市経営企画部都市戦略課

住所 〒238-8550 横須賀市小川町11番地



リサイクル適性

本冊子は、グリーン購入法に基づく令和3年度横須賀市グリーン購入調達方針の判断の基準を満たす紙を使用し、かつ、板紙へのリサイクルに適した材料〔B ランク〕で作製しています。

変化を力に進むまち。

